

今日は夏季保育も終りの日なので皆でたのしく遊びたい。皆と相談して、歌をうたつても、紙芝居でも、団体遊びでも、一日おもしろく遊びたい。

皆と相談してきめたが、やはりこちらも計画は少し持つていた方がよい。最後に軽いお八つをいたゞいてお別れしましょう。

以上、計画は平凡な、別にこれとゆう変化もない。しかし

八月の保育所におもうこと

鈴木とく

八月の保育所は、田舎にも、海にも、山にも、逗留しに行けず友
母の側にも居られない幼児のみが登園する様になります。

出席は減りますが、うだる暑さの中で、幼児も、保母も、夏休み
で自由にとびまわる学童達や、母が家に居るので休んでいられる友
達の事を、心ひそかに羨みながら、保育所の中で遊びます。

○八月の経営について思うこと

七月末から八月末にかけて、保育所は、子供の側からも、保母の
側からも、考えさせられる事が多いのですが、之が業務の妥だから

暑い暑い毎日のだから、計画が幼児に重荷になつてはいけ
ない、暑さをわすれる、楽しい毎日にしてあげたい。充分に
自分達の活動をさせ、楽しませてやりたい。

年令も別にするほどの人数もないと思うので、その点、年
令の差も一応内容にこすりよされなければいけない。夏季保
育には、在席幼児のみでなくて、近所の幼児をも対象にして
はいかがなものであるうか。経験のない私は色々な点、研究
も経験もしていないが、こんな理想を片すみに持つている。

年来のしきたりだからと、そのまゝに過ぎてい、ものかしらと毎年
思はされます。私立経営の所は、園長の考え方で、保母の過労をふ
せぐ様な、幼児も幾日間を、母のもとで過ごせる様な工夫がなされ
ると思いますが、公立の所は、事務系統と一緒に考えられるので、
開店休業の形でも、体面を保たなければならないと云つた感じがな
いでもありません。他の保母に気がねなく、休みながらも、他の人
達が忙しくて大変だなど考えて、おちおち休んだ気もしない休暇の
とり方でなく、幼く者に、当然の権利として与えられた賜暇休暇
をゆつくり楽しめる様な方法を、お互に考え出したいものだと思います。

働いている父母の爲も考え、

その様な両親を持つ幼児の爲にも考え、

十分に、常に生き／＼した、活気のある保育を続ける爲に保育の爲にも考え、

そしてよい夏を終らせたいものだと思います。

○家庫と保育所の親しいつながりと理解

夏の経営を考える時、所長、保母各々が、保育所の、現在の果すべくおかれた位置と使命を、そこなはない様にしながら、各保育所のおかれた、地域や家庭の状態の概括をつかんだ上で、計画はなされるでしょうが、一番必要なのは、各家庭が、保育所と、その保母を理解し、親しめる状態にならなければ、種々な誤解や、宣伝がなされて、思はぬ事にならぬとも限りません。一つ／＼の家庭が理解するとまでは、とうてい望めませんが、保育する側の努力を、「先生は、あれが商売だから」と云う風に語られる悲しみからすくはれる爲にも、両親と、保母の気持のつながりは常に考えなければならぬ問題だと思ひます。

保育所はその経営を休まないとしても、幼児の夏休み、保母の夏休みについては、家庭の意見もきき、こちらの状態も知つて頂いた上で、保母の安息の日を得られる様にしたいと思ひます。一年中、馬車馬の様に、困る家庭の爲に、と働いても、人間の限度を知れば休まないで働いたから、幼児の爲に、よりよい保育が出来るとは断言出来ません。

七月末に保護者会を開いて、四月からの状況をお話し合うと云う事は、七月の保育所の予定にあつたと思ひます。この話し合いの時出席されたお母様方と、納得のいく様に、保育のやり方、保育所の方針、保母の仕事などについて理解を求めたい、と思ひます。

○家庭の意見をきく事

問題は、出席した人達より、出席しないであれこれと、保育所の事を臆測で話す家庭にあると思ひます。

保母の仕事が保育以外に多くなりますが、

○簡単な便りを出すこと

○手まめに連絡帳で、子供の様子を知らせる事

○時々家庭を訪れて、立話でいゝから、家庭での様子などをき

く事

等が必要と思ひます。

夏休みについても、家庭全部から意見をきく様なものを出してみても、その結果から、お互の理解の上に立つ休みを考え出したらいいのではないのでしょうか、

○保育所の夏休みについて意見をおき、したいこと

○本来の使命として業務は休まないこと

○全然休みなく働かなければならない方は何時もの様に保育すること

○これ以外の方で、幼児が誰かに見えてもらえない家庭について意見をきくものであること

○夏休みがあつてもよい、ない方がよい

○夏休みの時期、七月下旬、八月月上旬、下旬

○期間、三日、五日、七日、十日等

○同じ時期に一齐に休んだ方がよい

○組の先生が休暇をとる時、その組で休める人は休んだ方がよい

○夏休みがあつても、保育料は減額にならない事

右の様な項目をとつて、○印をつけて頂き意見をそえて出してもらえようになればいい、のではないかと思います。番号を出席簿と同番号にして出せば、記名がなくても、どの家か、保育所では分ると云う風に出来ます。

○保育が考え違いをしない事

夏休みが当然であると考えるのでなく、保育所は、休まないのが然であるとしつかり心に保つておきたいものです。

だけれども、体と、心に疲れがあつては、幼児を扱う上によい保育が出来ないから、家庭にも、幼児にも、季節的にも適当な時期をえらんで、同じ職場で働く者同志がお互に負担にならない方法で、休養をとりたいし、幼児も、学童が家庭ですすむと同じに、母のもつて幾日かをすごす機会をもつのもよいと云うことから、夏休みを考えるのだと、云う風に思ひたいものです。考え方が知らずくの中に家庭に対する態度としてあらはれる事も忘れない様にしましょう。

○保育について

大部長い事、保育所の夏休みの事を考えてしまいました。業務

を休まないのですから暑さの中を登所して一日を過す幼児のためにも何か、楽しい、のんびりした、常とかはつた雰囲気を感じられる様な、保育をしましょう。最少二名の保母は出勤していると思ひますが、幼児の方は、年令別には出来ませんから毎月行う保育案は、何処でも計画出来ないと思ひます。

○年令混合の家族の様な風に、グループを、適当にわけましょう。

○一才児はとうてい入れられませんから、別に手をかける必要があります。

○床が綺麗であれば、時々或るグループの中に入れて遊んで貰う事も考えられます。

○登所の時間を暑くなつてからでなくなるべく、涼しい中に、早く来る様にしましょう。

○この事は、早起きのはげましにもなりますし、夜更しも、少しはふせげます。

○避暑にでも行つたつもりで（之は都市保育所だけです）朝からバンツ一つと麦カラ帽で、すごしましょう。

○朝顔を数えたり、畑の露をみたり、花に水をやつたり、庭の広い所は野趣豊かな遊びを見守りましょう。

○狭い庭でも、池をほつたり、鹽に水を汲んだり、水をまいたり出来ましよう、水と砂と泥と、日蔭があれば、終日、あきずに遊べる筈です。

○早目に午前中のおやつ、がほしくなります。費用の事が頭痛の種でしたら、原始的な農繁期保育所の様に、お八つの持よりは如何でしよう。

○家に居れば小遣の十円は確實ですし、お金をつかはなければ、何か十時に頂きます。この事を家と了解の上で、少量持参と云う事にしてもよいと思います。

○「○ちゃんのはあめ」「○ちゃんのはビスケット」等楽しく、やりとりして頂く事でしょう。ミルクの冷いのがあればなほ一層楽しい事でしょう。

○部屋で真座をしいて、其処で頂いてもいいでしょう。木陰があつたら、田舎風もしのべましょう。

○午前中の休憩が、思はぬ「おひるね」になる時があります。それでもかまはないと思います。

○十一時か十一時過に目をさまして、ゆつくりと、食事の準備をし、食事をとりましょう。

○手の清潔と、お弁当のおかずには、どの季節よりも注意しましょう。

○暑い日ざかりは、部屋の涼しい所で、静な遊びをしましょう。

○午前中に昼寝しなかつたら、この時間は昼寝の時間になります。

○午前中にしても、午後一時半か二時頃には休憩をとる必要があります。

○かまどでお湯をわかして、行水するのも、たのしい事ですが、水の便、用具、常々の生活習慣のつけ方如何で、保母の余りの負担になる事でしたら、見合せましょう。

○午前中の外遊びにシヤワー、午後ひるねか休憩の後、冷水摩擦でさつぱりした後におやつにしましょう。

○休めないで登所する幼児はたいいて、夕方もおそいのですから、

おやつのは、家に帰つた時の様に好きな風にして遊んでやりましょう。

○お休みの幼児のために

○一週間分でも、二週間分でも、よい習慣の日記を、お母さんとおつげましょう。

○四月から——七月迄、計画したけれど、尙十分でないと思はれるもの、夏には特にくずれると思はれるもの等、四つか五つ位、絵で表して、毎日の所え、しるしをつけて行くものです。

・夜、歯を掃除してねる事

・きめた時間に床にいたり、起きたりすること

・お母さんと約束したお家でのお手伝いの事

・お小づかいの事

・その他、家でも、保育所でも、出来なくて困ること

・何か頂く時は、必ず家に帰つて、手を綺麗にして頂く事

その他、その保育所の幼児の状況に成じた項目をつくつて、楽しく出来る様に約束しましょう。

○自分で出来たら赤い○

云はれて出来たら黄色○

お母さんも、私もわすれたら青い○

等と云う約束はどうでしょうか。

○別に、家庭の母親には、通信を出して

・休みの中に、悪い習慣がつかない様に

・保育所ですべて、よいと思うことは、必ず実行させる様に

・だらしない生活（食生活や生活時間等）にならぬ様

・日を見て、海か山え、一日でもいゝから、母と共に楽しく終日を通せる様な機会をもつて頂きたい

等々、あまり盛沢山にならぬ様、注文しましょう。

真夏の午さがりきく風鈴の首に感ずのんびりした気分、あの気分を夏の保育としたいものです。

（20頁より続く）

今日の文明社会の生活ではこれと異つた面で、敏捷な身体運動を更に多く必要としている。都市のはん雑な交通、天災、火災爆発などに直面したとき、何れもそうである。更に、身体の発達期にある子供には、完全な身体の発達を期すための特別の意味合があるので、一そうこの教育効果が期待される。

幼い時代の身体活動は、それが後の時代の基礎となるので、如何にあるべきかと十分に考えられなければならない。これに対して答えられる重要な点は、それが運動の速度の記録や美しい型であるのではなくして、子供自身が如何に

多く快の経験を味合い得ているか、また、調和をもち得ているかにあるといえよう。なぜならば、これらは運動の発達の基本条件となるからである。

* * *

副島ハマ先生著

折紙教本

B6上製二六四頁
定 價 二五〇円

品切の為大変御迷惑をおかけしておりました折紙教本がこのたび新装成つて出来上りました。御用命下さいますよう。古来我が国独特の優美な手芸として幼児に親しまれてきた折紙を指導されるには絶好の図書として広く御推薦致します。

發行所 株式会社 フレーベル館

東京都千代田区神田小川町二ノ五